

# 広報 119

2009春号 vol.7

地域の防災は  
みんなの力で!

3月8日春の火災予防週間の行事として大東町の摺沢幼稚園幼年消防クラブが防火パレードを行った後、蒸気ポンプ保存会の放水披露で、地元消防団の方に教わりながら放水訓練を体験し、防火への理解を深めました。

## ●●● 今後の行事予定 ●●●

5月 1～31日	水防月間	7月 12日	一関市水防訓練
6月 7～13日	危険物安全週間	31～1日	サバイバルキャンプ
11日	危険物安全研修会	8月 23日	消防設備士試験
12日	岩手県危険物安全推進大会	9月 1日	防災の日
14日	市民防災フォーラム	6～12日	救急医療週間
24～25日	甲種防火管理講習	9日	救急の日
27日	危険物取扱者試験	10月 17日	危険物取扱者試験

一関市消防本部のホームページURL

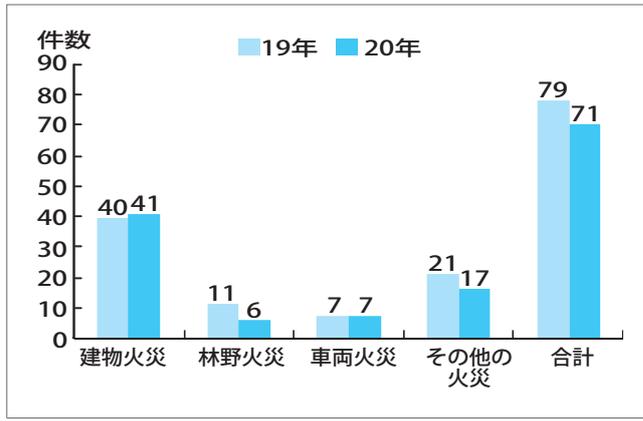
<http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/syobo/index.html>

# 火災・救急の状況について

平成二十年の一関市消防本部管内の状況についてお知らせします。

## 火災の状況について

一関市消防本部管内の平成二十年の総出火件数は七十一件、火災による死者は六名でした。



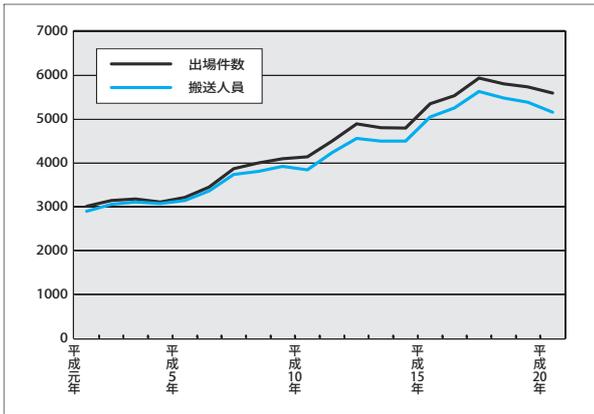
平成20年の火災の内訳

内訳は、建物火災四十一件、林野火災六件、車両火災七件、その他の火災が十七件で、前年と比較すると総出火件数で八件の減少となっています。これは総出火件数では五日に一件の割合で、また建物火災は九日に一件の割合で発生していることとなります。

## 救急の状況について

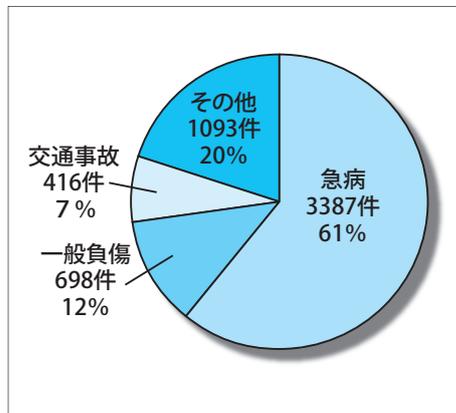
また、火災の原因別では春先のたき火等による火災が多く発生しているのが気象状況等に十分注意して下さい。

平成二十年の救急出場件数は五千五百九十四件で、昨年と比較し百四十件（二・四％）減少しています。平成元年からの推移では救急出場件数は増加を続けておりましたが、平成十七年をピークにそれ以降ほぼ横ばいとなっております。



平成元年からの救急出場件数の推移

一日当たりの平均出場件数は十五・三件で、これは一時間半に一件の割合で救急出場していることとなります。事故種別ごとの出場件数等は左の表の通りです。



平成20年の救急出場内訳

また、傷病程度別搬送人員数は救急搬送者のうち重症が七百六十二人で全体の十五％、中等症が二千二百四十人で四十三％、軽症が千九百九十三人で三十九％となっています。今後とも救急車の適正利用にご協力をお願いします。

※重症は三週間以上の入院を要するもの、軽症は入院の必要のないもの、また、中等症は重症と軽症の間の傷病を表しています。

## 危険物の取り扱いにご注意ください。

平成二十一年度危険物安全週間が六月七日～十三日まで「安全は意識と知識と 心掛け」を推進標語に全国一斉に行われます。

危険物は「火災発生の危険性、火災拡大の危険性、消火の困難性が高い性質をもった物品」と消防法で定義されています。

具体的には、ガソリン、灯油、軽油などの燃料のほか、塗料、プラスチック、化学繊維の原料などで、私たちの生活になくてはならないものです。適正に使用すれば私たちの生活を豊かにするものですが、ひとたび取扱いを誤ると多くの生命や財産を一瞬で奪ってしまうおそれがあり、その性質を理解した安全な利用は極めて重要なことです。

一関市消防本部では危険物安全の一層の推進を図るため、危険物関連施設の安全管理、家庭における危険物取扱いの安全啓発を重点に事業を展開いたします。



ポリ容器でのガソリンの保管は禁じられています。

お知らせコーナー

市民防災フォーラム「岩手・宮城内陸地震から一年」

昨年6月14日に当地を襲った地震から1年となる同日に地震を振り返り、行政・地域社会・マスコミ・住民などの役割について考えます。

と き 6月14日(日) 午後1時30分から

場 所 一関文化センター大ホール

内 容

1 基調講演

演題「岩手・宮城内陸地震から何を学ぶか」

講師 岩手大学副学長 齋藤 徳美

2 パネルディスカッション

テーマ「岩手・宮城内陸地震を振り返る  
～自助・共助・公助のあり方について～」

コーディネーター

岩手大学副学長 齋藤 徳美

パネリスト

- |                  |       |
|------------------|-------|
| 前一関市巖美18区長       | 佐藤 勝雄 |
| 一関市消防団 部長        | 箱石 勝守 |
| 岩手放送報道部          | 宿輪 智浩 |
| 一関市副市長           | 坂本 紀夫 |
| 岩手県南広域振興局一関総合支局長 | 青木 俊明 |
| 岩手河川国道事務所長       | 山本 聡  |

小ホールで岩手・宮城内陸地震のパネル展を開催します。皆さんお誘いあわせの上ご来場ください。

サバイバルキャンプ(避難所生活体験)

参加者募集

地震災害を想定して避難所生活を体験しながら、防災に必要な知識や技術を学びます。

と き 7月31日(金) 午後3時から

8月1日(土) 12時まで

場 所 千厩体育館(千厩町千厩字館山50)

定 員 100名

内 容 避難所運営訓練と防災の基礎知識など

問合せ 6月15日から受付を開始いたしますので、各消防署・分署へお申し込みください。

消防・防災セミナーを  
活用ください。

消防本部では、火災・防災・救急などの基礎知識や技術を広めるため、地域に署員が出向き講習を行うセミナーを開催しています。詳しくは各署・分署にお問い合わせください。

- |                |                |                |
|----------------|----------------|----------------|
| 西消防署 ☎ 25-0119 | 平泉分署 ☎ 46-0119 | 南消防署 ☎ 82-0119 |
| 藤沢分署 ☎ 63-0119 | 東消防署 ☎ 51-0119 | 室根分署 ☎ 64-0119 |
| 川崎分署 ☎ 43-0119 | 北消防署 ☎ 71-0119 | 東山分署 ☎ 47-0119 |

シリーズ第7回

子供の命を守るために

県立磐井病院 救急医療科長 片山 貴晶

家庭内には落ちてきたり、倒れたりする物が数多くあります。倒れて子供がけがをした物としてはテレビ・椅子・タンス・下駄箱など、落ちてきてけがをした物としては棚に置いてあった缶ビール・フライパン・台所にあつた包丁・本棚の本・台所の上部収納スペースにあつたガラスケースなどがあります。いろいろな物が倒れたり、落ちてきてけがをしています。はしゃいでいてぶつかって倒れることも多く、またビールや包丁などは不用意に置いていて何かの拍子に落ちてきて大けがをしています。地震の際には何も対策をとっていないと数多くのものが倒れたり落ちたりすると思われれます。

阪神淡路大震災の際に死者の多くは家財道具が倒れてその下敷きになったと言われています。大人は大丈夫な物でも小さな子供ではひとたまりもありません。命を守るためには、特に子供が寝ている部屋に倒れる可能性が少しでもある物は一切何も置かないことしかありません。これは大人でも同じです。

また、普段子供が生活している空間には子供の背丈より高い物は置かないことです。大人の生活は多少不便になります。子供を守るためにもすべて押し入れや納戸などにしまいましょう。

う。本棚や食器棚も例外ではありません。本などは必要なものを箱にでも並べて床に置いておくとういでしょう。台所の棚やその他扉が開いて中の物が落ちてくるような家具にはすべてロックを付けましょう。

またテレビなどは転倒防止のパッドの上に置きましょう。タンスや本箱などは底に転倒防止パッドを置き、さらに底辺をわずかに前に出して壁に少しよりかかせておけばよいでしょう。また、壁に固定してしまうのも良い方法です。

些細なことですが、けがから守るためには大人の協力がなくてはなりません。これらの防止策をしてもかかる費用はわずかです。命には替えられません。今、皆さんもご家庭の中をぐるっと見渡してみてください。危険な物はありませんか？



家具の転倒などに  
注意しましょう

# 自主防災力の向上に向けて

## 住所地番を防火水槽標識へ表示

西の沢自主防災会（室根地域）

西の沢自主防災会（会長 齊藤将博）では、地区内の消火栓・防火水槽の設置状況の把握を行い、また災害時の早期通報手段の確立を目的に「防火水槽標識への住所地番シール」の表示活動を室根分署員と合同で実施しました。現在、当地区には公設の地上式消火栓二基と防火水槽十基が設置されており、全十二基の標識に表示を行いました。



防火水そう標識に住所を表示

ました。今後の活動としては、防災マップの作成等を予定しています。齊藤会長はこれからも『自分たちの地域は、自分たちで守る』の『共助』の精神で地域防災力の向上に努めたいと話していました。

この標識への表示により、付近で火災や交通事故等の災害発生時に、土地

## 防災資機材の点検・取扱訓練を実施

金沢地区自主防災会（花泉地域）

金沢地区自主防災会では、二月二十二日、刈生沢コミュニティセンターにおいて、防災資機材の点検及び取扱訓練を行いました。防災資機材は昨年十一月に財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業により整備したもので、月ごとに定められた担当者が毎月最終日曜日に点検を行なっています。

この日も会員六名が発電機やチェーンソー、エンジンカッターなど全ての資機材の稼働状況、破損の有無及び燃料の残量などを点検記録簿にチェックするとともに、会員相互に操作方法や操作の注意点を確認するなど、災害に



防災資機材の動作を確認

よう備えま

勘のない人でも速やかに現在地を把握し、一一九番通報できるようにしました。

## 地域一丸となった活動を表彰

### 優良自主防災組織等表彰式

2月21日一関市消防本部で優良自主防災組織等表彰式が行われました。これは自主防災組織等の活動の推進と地域防災力の向上を目的に、優れた活動を行っている組織やその指導者を毎年表彰しているものです。

表彰を受けた方々は次のとおりです。（敬称省略）

#### 上申の部

- 一関地域自主防災組織連絡協議会 会長 岩淵 哲夫
- 花泉町婦人消防協力隊 分隊長 菅原登喜子
- 藤沢町婦人消防協力隊 副分隊長 岩淵 幸子
- 室根町婦人消防協力隊 副隊長 高橋百合子
- 第1区自主防災会（室根地域） 会長 小山 烈
- 川崎町婦人消防協力隊 班長 米倉麻弥子
- 東山町婦人消防協力隊 分隊長 佐藤 成子
- 滝ノ沢地区自主防災会（東山地域） 会長 鈴木 垠



表彰を受けた方々

#### 応募の部

- 山目・中通民区自主防災会（一関地域）
- 山目五区自主防災会（一関地域）
- 宮前民区自主防災会（一関地域）
- 天ヶ森自治会自主防災会（千厩地域）
- 本町自治会自主防災会（川崎地域）
- 流矢地区防災会（大東地域）
- 松川1区自主防災会（東山地域）

### 自主防災組織の結成状況

市町名	地域名	行政区数	組織数	結成行政区数	結成率
一関市	一関	157	62	99	63.06%
	花泉	60	7	60	100.00%
	大東	88	34	38	43.18%
	千厩	28	31	28	100.00%
	東山	28	28	28	100.00%
	室根	20	17	17	85.00%
	川崎	26	25	25	96.15%
平泉町		21	13	13	61.90%
藤沢町		44	41	41	93.18%

平成21年3月31日現在 結成率は結成行政区数/行政区数

発行日 ●平成21年5月25日

編集 ●一関市消防本部

〒021-0053 岩手県一関市山目字中野140-3

TEL (0191) 25-0119